

町長・幹部職員が地域に出向き、町の将来像である「まちがいきいききらめくはりま」の実現に向けて、まちづくりに関する意見、要望などを直接住民の方から聞き、今後の町政に反映させることを目的に開催するものです。

※行政懇談会でいただいた意見の一部を、抜粋して掲載しています。



### テーマ「平成28年度予算」

宮山自治会

日時 6月25日

午後7時～8時50分

場所 宮山公民館

参加者 27人



自治会 JR土山駅の自由通路部分の所有者は

行政 自由通路部分は、町道で播磨町の所有である

自治会 自由通路からB・V

行政 検討もしたが、やはり非常に高額な費用が必要となり無理であった。また、建物は民間のもので、接続してしまつと借地の期限が切れたときに、支障となる恐れがある

自治会 B・V土山の隣の広場にある建物は防災倉庫か

行政 隣にある広場は、防災

倉庫などを備えた災害時のための施設として整備したものである。敷地入口に案内看板を設置している。ソーラー機能を持った街灯を設置し、倉庫にはテント型トイレの他、いざという時のための機材なども収納している

自治会 平成28年度の予算にある「ソウブチ池改修事業」とは

行政 このたび、町の関係グループ、水利組合関係者、近隣自治会長などが集まって「ソウブチ池ため池協議会」を立ち上げ、このため池を今後どうしていくかを検討する場を設け、話し合っているところである。この協議会の中で水利組合の了解も得、地域も納得できるよう、このソウブチ池をどのような形で残していくか、また農業用ため池としての役割を残しながら改修を行うなどソウブチ池の将来や整備の進め方を話し合い、それらに基づいた設計などを行う費用である

自治会 「地域の教育力向上

事業」と子育て世代包括支援事業」は、なぜ別の所管なのか

行政 前者は、教育委員会が学校の活動を広げて地域にも入ってもらうことを目的とした事業で、後者は児童福祉事業で子どもに関する総合的な窓口を設置し、生まれる前から心身ともに支援する事業なので、別のグループが担当している

自治会 「街灯LED化事業」

行政 この事業は町が管理している街灯のLED化を行うもので、おおむね主要幹線に実施している。生活道路にあたるところの街灯は、自治会が管理されており、自治会がLED化を行っていたこととなる。この場合、町の方で経費の一部を補助しているので、活用していただきたい

自治会 地籍調査について、野添城地区は終わったのか

行政 昨年度から野添城地区に入つて1丁目終了し、今

年2丁目を実施する。進捗率は人工島が終わつたので県平均の30%に達している

自治会 役場からの情報については、別チラシにするのではなく、広報紙の中に掲載できないか

行政 できるだけ役場からの情報は広報紙に掲載するようには考えているが、別チラシにする目につきやすくありません。たとえば町職員募集のお知らせなどは、大変効果があり町内からたくさんの方の応募があった。可能性があれば改善したい

自治会 役場庁舎の耐震化は終わっているのか

行政 阪神・淡路大震災後、耐震診断を実施し改修もしている。小学校や公共施設も耐震改修を終え、福祉避難所も設置、津波避難ビルも協定を結んだ。皆さんの住宅もぜひ耐震化をお願いしたい。今年から住宅改修には耐震診断が必要になるが、本町では耐震診断が無料で行える。改修工事の補助もあるの

で考えてもらいたい

自治会 高齢者に対する路線

行政 無料パスも検討したが、

運用面での疑義もあり、見送つた。現在、コミバスの導入で、誰でもいつでも乗れるような方向で、考えている

### テーマ「平成28年度予算」

宮ノ裏自治会

日時 7月3日

午後6時30分～8時

場所 宮ノ裏公民館

参加者 25人



自治会 防災倉庫をであい公園や北公園にも設置してほ

しい。また、学校の授業で普段から子どもたちが防災に関心を持てるような取り組みができないか

行政 町では備蓄計画に基づき順次防災倉庫の設置をすすめている。たとえば集中

公民館用の土地を取得する場合の補助はあるが、借地代についての補助はない

自治会 「ため池改修事業費」とあるが、ため池として残す必要性があるのか。高齢化対策として、埋め立てて福祉施設を整備してはどうか

行政 この改修予算は、妹池の漏水箇所の補修などに関する経費やソウブチ池の抜本的な改善を検討する経費などである。ため池は農業用水のために作られたが、農地が減りその役割も少なくなってきた。一方では集中豪雨の際、一時的に貯留して洪水を防ぐ機能が見直されている。また、そのほかの活用方法も水利組合や地域の方、行政も一緒に考えていこうとしているところであり、都市化されていく町の中においては水辺空間が必要である。単に土地がないから埋め立てるといふのは難しい

自治会 雨水の貯留のためなら、公共施設などを建てる際に地下貯留施設を設けることもできるのでは

行政 地下に貯留施設を整備

利用してもらいたい

自治会 「空家等対策計画策定事業」については、ぜひ積極的に取り組んでもらいたい。人口増を進めているみたいだが、これ以上増える人口密度も高くなり、田畑も減少してしまう。まずは空き家に入居してもらってはどうか

行政 昨年の空き家調査では約200戸の空き家が確認された。空き家は個人の財産なので、それを使いたい人として繋ぐか、今後検討を進めたい。人口については町として最低3万人は維持していきたい。日本全体が人口の減少傾向にある中、昨年の国勢調査でも播磨町は県下で2番目の伸び率になっている。町の活性化のためにも移住者の増加を目指している

自治会 いきいきフォーラムで空き家の雑草のことが話題にあがったが、どうすればいいのか

行政 町にそのような連絡があれば、所有者の方へ草木などの刈り取りの依頼を行っている